

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)老朽管更新事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 水道課		電話番号(内線): 713	
記入者情報	所属長: 野島 康博		担当責任者: 田中 浩二	
実施期間	【開始年度】 平成 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	市民(上水道の利用者)			
事業の必要性	水道施設の更新及び改修を行うことにより、安全で安心した水道水の供給をすることができる。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負		【施工場所】 伊予市上水道供給区域	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	上水道区域内に清浄かつ安定的な給水をするため。			
事業の内容	経年管及び漏水が頻繁に起こる配水管の更新をする。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	管路台帳を整備し、老朽管更新事業を促進するとともに、漏水頻度を把握し管路整備に合わせて耐震化を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	30,841	32,850	6,499	13,852
	人件費	4,311	4,215	795	4,215
	合計	0	37,065	7,294	18,067
人件費 内訳	人工数	0.53	0.53	0.10	0.53
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,311	4,215	795	4,215
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	35,152	37,065	7,294	18,067

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
布設工事費	30,841	13,852	40,000	40,000	40,000	40,000	
発注件数	3	6	4	3	3	3	
年度別事業費	30,841	13,852	40,000	40,000	40,000	40,000	
財 源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	30,841	13,852	40,000	40,000	40,000	40,000
国・県支出金等名称							

成果指標				
成果指標	有収率(年間総有収水量÷年間配水量×100)			
指標設定の考え方	有収率により本事業の総合的な成果の把握が可能のため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目 標	90.7	-	-	92.4
実 績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	配水管の漏水履歴、管種、布設年度等を把握し更新が必要な配水管を計画的に布設替えを行い、有収率と耐震化率の向上に努める。公共下水道事業や道路改良事業と連携し効率的な事業の実施とコスト縮減を図っていく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老朽管の更新事業は、水資源の有効利用と有収率の向上のため、強いては、水道水の安定供給に欠かせない重要な事業である。そのために配水管の漏水履歴、管種、布設年度等を把握し更新が必要な配水管を公共下水道事業や道路改良事業と連携し効率的な事業の実施とコスト縮減を図りながら計画的に布設替えを行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題